

第七回森とせせらぎ祭りについて

森とせせらぎ祭り代表 平井資嘉寿

世の中では運、不運は紙一重と言う通り、特に事業をやる時は、尚更天気は気がかりなものです。今まで行ってきたせせらぎ祭りでは、第4回の祭りは初めて橋公園での開催でしたが、最高の好天気にも恵まれ、参加者も初めてということもあり、迷子の放送がある程、大勢の地域の皆さんや舞台とイベント会場が一体化できたことで、大いに楽しまれ何よりだったと思っています。

そして、今年の森とせせらぎ祭りは、十月二十日(日)橋公園で行い、雨天時のステージ演技は子母口小学校旧体育館となっております。

尚、今年の運営の特徴は、私達のかねてより念願でありました、若い有能な方が数名地域代表として、素晴らしい活躍をされています。これから祭りの充実発展の為に、最大限の力を発揮して下さることを確信しています。皆様のご支援、ご協力をお願い致します。



橋公園に会場が移る前の祭り風景(せせらぎ沿いの教職員住宅跡地)

「せせらぎ灯籠流しと乙女文楽」

ひとみ座 伴 通子

せせらぎが矢上川に流れ入る所、すぐ傍に人形劇団ひとみ座があります。創立十八年にしてやっと本拠地ができました。それを機に伝統芸能「乙女文楽」の継承を考えました。

その頃矢上川は桜の堤だったのですが、洪水に見舞われたりして今のようなコンクリートの堤防にかわりました。それから「せせらぎ遊歩道」ができました。四季の花が咲き、鴨が遊び、泳ぐ、人が集まり癒される場所です。



その五年目の記念に「灯籠流し」が計画されひとみ座の乙女文楽にも声をかけて頂きました。

演目の「三番叟(さんばそう)」は古くから人々の集まる所に喜びがたくさんあるように、祈りを籠めて舞われてきました。

先祖の霊を慰め、夢や願い事が画かれた灯籠が流れる。これからも幾久しくこの地に平安を繋ぎ留めて逃さず、と思えます。



せせらぎネット、川崎市との

共同調査が行われた

せせらぎネット副代表 松本浩次郎

六月に行われた「第5回せせらぎシンポジウム」での問題提起に対し、川崎市建設緑政局から呼びかけがあり、『土の目減り』について共同調査が行われました。

参加者は緑政局の古屋課長、公園事務所の駒沢係長と二所員の四名、地元

からは「明津地区管理運営協議会」の金子よし子会長と照山さん、「せせらぎネット」の田辺事務局長と「子母口」の遠藤さんと松本の五名が参加しました。

八月十四日の9時半に管理棟に集まった9名に、明津の照山さんが建設時の図面で問題点を指摘し、カンカン照りの遊歩道で『土の目減り』箇所を確認しました。

緑石に土の跡が残っている部分、『土の目減り』が十センチを超え箇所、特に「せせらぎの木柵」が何本も欠けた明津橋下流がひどく、緑政局から「土を補給するから協力して欲しい」「木柵の修理を下水道局に呼びかける」「陥没路面の修復はすぐやる」など、前向きな回答がありました。

「トクサが全滅」「植栽の枯れた箇所修復」も話題になり、子母口地区などでも問題点を確認・提起し、せせらぎネットも《皆に愛される遊歩道の維持・改善》活動を広げてゆこうと確認し合いました。

◇写真は朽ちた木柵◇



第7回森とせせらぎ祭り

によせて

若竹幼稚園 園長 山田まり子

若竹幼稚園では、「地域の幼稚園、学校、地域、家庭、企業が協力連携し、せせらぎ遊歩道を架け橋に、子どもの豊かな成長を育むまちは」という内容に賛同し、第2回よりこのお祭りに参加しています。

お祭りのテーマ「子ども未来・地域ふれあい水と緑のふるさとづくり」を踏まえ、今年度も、せせらぎの自然を満喫出来るスタンプラリーを行います。若竹幼稚園の近くを流れるせせらぎの自然、子どもたちと一緒に楽しみたいと考えています。

園児のご家庭へ、橋公園で行われる催しもお知らせし、地域の皆様とのふれあいを楽しんで欲しいと思っています。

皆様のご理解とご協力を賜り、地域の皆様と共に楽しいお祭りを開催できればと願っています。

どうぞ、せせらぎへも足をお運び下さいね。



無垢な心は何をイメージしているのでしょうか...

各地の祭を訪ねて
アジアカ系操り人形芝居フェスタ

佐藤 克明

猛暑や豪雨の夏、島根県益田市にアジアカ系操り人形芝居の祭を訪ねました。益田市は、明治二年ごろ浅草の人形使いが伝えた系操り人形芝居があります。十年前、後継者もいない、観客も少ない、この先どうやって継続していけばよいか、という厳しい時期に、シンポジウムを開いて市民に関心をもってもらったことになり、わたしにその企画と司会の依頼がありました。以来のおつきあいですが、その後、さまざまな積み重ねがあって、今では三十代の市職員三人など、後継者もでき、県内外で公演する機会も増えました。文化庁の支援も受け、指導者を東京から招いて技能向上も図って、子どもたちへの普及・伝承も、少しずつ行われてきました。

県の無形文化財指定五十周年という今年、益田系操り人形芝居を初め、山口県周南市、山口市、柳井市の系操り人形芝居の公演、紹介と、ミヤンマー、中国泉州市からもユニークなグループが参加してのフェスタが実現しました。それぞれ会場を楽しませ、相互にも表現や操る技術などの交流ができ、たいへん成果があった集いでした。

わたしが注目したのは、泉州市の劇団です。十代から可能性のある子どもを教育し、プロとして育て、伝統の継承とともに、今の子どもやおとなにも楽しめる新たな作品を作っています。テンポもゆったりとした抒情的な作品から、快速のしやれたユーモラスなものまで、心に残るものでした。日本の系操り人形に、新たな可能性を示していたともいえます。写真撮影：現代人形劇センター



「泉州木偶劇団の舞台の様子」



シリーズ地産地消

中原・高津の農

八月三十一日午後四時。傾いた日差しに伸びる影。夕方にも関わらずジリジリとした暑さに顔から汗が流れ落ちます。井田の青山さんがこの地に根差したのは、江戸時代の後といことですが、その頃水田だった土を入れ替えずに今でも使っているそうです。

「真土(まつち)」と呼ぶのだそうです。土には「水はけの良い」と「水もちの良い」ものがあり、延々と続いた水田を畑にした後も、そのままの「水もちの良い土を大切に使用している」とか。

夏野菜の収穫が終わわり、秋から冬への作物の苗を畑に植える作業中にお話を伺いに行きました。

いま植えているのはブロッコリーの苗です。畑に掘った溝に苗を一つひとつ置いていき、根の部分で埋めている写真で、風の強いときの植え方だそうです。

中原区民祭用に収穫できるように、イメージをみての作業ですが、天候次第だそうです。ブロッコリーといえど、カリフラワーとのかけ合わせの「カリブロッモ」と呼ばれる野菜も



作っているそうです。作物にとって大切な水は井戸水を汲み出して撒いています。かっつてもっと広がった畑は、一部住宅に変わってしまっています。畑のすぐそばを矢上川が流れ、その向こうには井田山が見えます。青山さんの鉄塔の下にも青山さんの畑があります。その畑の向こうには武蔵小杉の高層マンションが迫るように林立していました。

青山さんの直販所
井田一十七二五
記事編集・本間

～会員募集～

森とせせらぎネットでは「地域の子供達に、ネットの活動を通して、地域の人々とのふれ合いを深め、故郷を感じ又次の世代へと心を繋いでいって欲しい」そんな思いを込めて、江川遊歩道とせせらぎが、子供達と地域の住民に、もっと愛される為には如何すればよいか、日々考え活動しています。

一時清流を得たせせらぎでしたが、河床の構造、穏やかな流速、直射日光による光合成の促進、カルガモや鯉などへの餌遣りによる栄養過多などによって、糸状性藻が大繁殖し、開設時の清流の面影は消えつつあります。

遊歩道は周辺の住民のご努力により、いつも綺麗な草花が咲き乱れていますが、開設当初設置された案内図との違和感を感じざるを得ません。

歩みは遅いですが、私達は改善に向けて今、一歩ずつ確実に歩を進めている所です。

こんな団体ですが、ご協力を頂ける新しい力を求めています。

写真、パソコン、造園、土木建築、電気、上下水道関連などに詳しい方大歓迎です。制約は全く御座いません。会費等詳細は下記までお気軽にご連絡下さい。

【森とせせらぎネットワーク】

代表 平井資嘉寿 副代表 松本浩次郎 事務局長 田辺勝義
Tel.044-777-4005 Tel.044-766-3833 Tel.044-766-0550
090-5336-0035 090-8813-1076 080-3461-4003

その他 <http://www.seseraginet.sakura.ne.jp/> (当団体のHPお問合せ欄)

10月～11月のネット及びネット関連団体イベント紹介

◎第七回森とせせらぎ祭り

10月20日(日)午前9時～午後3時半
主会場 橋公園、他 新城公園 管理棟、明津橋、馬場動物病院。
スタンブ：ラリー、人力車あり。

◎ひとみ座寄席を楽しむ会

○11月9日(土) 3時～7時、ひとみ座 落語 三遊亭子金馬 他2名、色物
○11月10日(日) 2時～ひとみ座 落語 五街道雲助 他2名、色物

◎市民健康の森を育てる会

○10月12日(土) 9時～ 矢上川クリーンアップ作戦
○11月10日(日) どんぐり工作会
○12月5日(木) 井田山クリーンデイ

◎神庭・里山を楽しむ会

○10月26日(土) 9時～ 神庭・井田山ミニハイク
○11月23日(土) 落ち葉掻きツル薙編み
○12月11日(水) 竹林管理、落ち葉掻き